

令和 2 年度 (2020 年度) 当初予算案 (一般会計) の概要

歳入歳出予算総額：63億1,300万円

(対前年度 1億1,100万円 (1.7%) 減【過去2番目の予算規模】)

(単位：百万円)

	H28(2016年)	H29(2017年)	H30(2018年)	R1(2019年)	R2(2020年)
当初予算額 (工業団地除く)	6,241 (5,395)	5,586 (5,299)	5,523 (5,476)	6,424	6,313
対前年度伸び率 (工業団地除く)	2.2% (3.3%)	▲10.5% (▲3.1%)	▲1.1% (3.3%)	16.3%	▲1.7%

「活力と安心のまち、向かう未来へいざ前進」予算

令和2年度当初予算案については、平成29年度から開始している重点施策プロジェクトを力強く推進しつつ、明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町、次世代に誇れる竜王町を実現するため、「活力あるまち創り」、「安心して暮らし続けられるまち創り」を柱として、8つの施策に予算を重点配分しており、『活力と安心のまち、向かう未来へいざ前進』予算としています。

具体的には、コンパクトシティ化構想に基づく中心核整備、そのリーディングプロジェクトである竜王小学校の移転新築等に向けた準備、また新しい公共交通システム構築の他、2つの道の駅の充実、農業の振興、滋賀国スポ開催に向けたボルダリング施設整備と選手育成、防災行政情報システム整備等、将来を見据えた積極的な予算としています。(防災行政情報システムの整備費の減額分に対して、その他増額分を総合すると、前年度に比べ1億1,100万円の減額となるものの、予算規模は過去2番目となりました。)

活力あるまち創り

1 コンパクトシティ化構想実現に向けた中心核の拠点整備

① コンパクトシティ化構想に基づく中心核の整備 1,095万円《新》

(コンパクトシティ化構想に基づき具体的な手法を示した中心核整備基本計画を基に、地元や国、県などの関係者との協議を進めるとともに竜王小学校整備基本構想とも整合性を取り、中心核整備を進める。)

2 魅力ある農業・商業・観光業などがそれぞれ力を発揮する舞台づくり

① 道の駅アグリパーク竜王モデル化の推進 4,998万円

(重点道の駅「アグリパーク竜王」について、「モデル道の駅」をめざし、施設の整備を行い、生産者、出荷者、消費者との交流の場として来訪者の増加を見込む。)

② 竜王近江牛等特産品の魅力を発信 5,380万円《拡》

(町内の生産者、企業、関係機関、行政が連携し、まちの魅力を発信を行う。また、重点道の駅「竜王かがみの里」の駐車場の拡大等を図る。)

③ 魅力ある農業の創出と農業振興のあり方の検討 835万円

(野菜・果樹・近江牛等の魅力ある農産物を真のブランドとして創生するため町独自の支援をする。また、農業のあり方について幅広い分野からの意見を聞く中で、担い手の育成、経営基盤の安定、産地の育成強化、土地改良施設等の維持保全等について竜王町農業の方向性を見出す。)

④ 土地改良施設の機能強化 2,141万円《新》

(農村保全に取り組める環境整備を図るための人的強化を行う。また、ため池詳細調査の実施、農業用ため池のハザードマップを作成する。)

3 工業団地等への企業誘致の推進および若者定住対策と雇用の促進

①滋賀竜王工業団地等への企業立地の早期実現 95万円

(企業が活動しやすい環境づくりや企業誘致の完了をめざし、産業の高度化および地域の活性化を図る。)

②若者定住のための住まい助成 1,654万円《拡》

(若者の定住を促進するため、住宅の新築およびリフォームならびに家賃への助成を行うことで定住化を図る。また、町有地を活用した住宅地確保に向けた検討も継続する。)

4 竜王で子どもを育てたいという教育の充実

①竜王小学校の移転新築等に向けた準備 1,161万円《新》

(令和7年4月に開校をめざす竜王小学校の移転新築について、令和元年度の基本構想を基に基本計画を策定するための準備を進めるとともに、移転予定区域内における文化財試掘調査を行う。)

②滋賀国スポ開催に向けたボルダリング施設整備と選手育成 344万円《拡》

(竜王町総合運動公園内に県大会レベルの開催が可能な常設ボルダリング施設を整備するための準備を進める。また、アスリートの育成に向けた支援に取り組む。)

③きめ細かな教育の推進 7,545万円

(町費による各種支援員等を町内校園に配置し一人ひとりに寄り添うきめ細かな指導や支援を充実する。)

④生きて働く基礎学力の定着 95万円

(児童生徒の基礎学力の定着に向けた指導力の向上、また「徹底反復学習」に取り組み、集中力の向上や脳の活性化を図り総合的な学力の向上をめざす。)

⑤幼小中系統的英語教育の推進 684万円《拡》

(英語教育について幼小中の系統性を一層重視し、英語教育の更なる充実を図るとともに、英語に慣れ親しむ機会の拡大を図る。)

⑥子どもの健やかな成長を支援する家庭教育の充実 131万円《新》

(国の「早寝早起き朝ごはん」推進校事業の委託を受ける中「家庭教育」を社会教育推進の大きな柱として取組を進める。)

安心して暮らし続けられるまち創り

1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと子育て支援等の充実

①小中学生の医療費無償化を継続 3,123万円

(小学生から中学校卒業までの医療費の無償化を継続する。(平成29年10月から実施))

②放課後児童の健全な育成 4,401万円《拡》

(児童数の増加に伴い西小学校区の学童保育所を1クラス増設し、合計5クラスにより、昼間就労等で保護者が不在の児童に対し安心して安全な育成の場を提供する。)

③給食センター内の食物アレルギー対策 580万円《新》

(安全で安心な学校給食づくりを一層推進するため給食センター内にアレルギー対応調理室を設置する。)

④軽自動車の購入助成 159万円《拡》

(定住促進および子育て世帯の支援を目的とした軽自動車購入の助成に加え、高齢者を対象に先進安全性能を備えた軽自動車購入に対する助成を追加し、地域経済の活性化を図る。)

2 健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実

①りゅうおう健康ベジ7(セブン)チャレンジの更なる推進 115万円《拡》

(本町の健康課題である糖尿病および高血圧症などの予防のため、健康いきいき竜王21プランに基づき、地域や関係機関と協働して取組を進めることで、健康寿命の更なる延伸を図る。野菜350g、塩分7g未満、血圧チャレンジに加えて、今年度は受動喫煙の防止、こころの健康づくりに取り組む。)

②地域支え合いサポート事業による地域コミュニティの強化 132万円《拡》

(少子高齢化に伴う地域課題を洗い直し、地域住民自らが解決する方法を見出すための取組を支援する。)

③高齢者福祉施設の整備 4,115万円《新》

(第7期介護保険事業計画に基づき、認知症高齢者グループホームの整備促進および安定した体制整備を支援する。)

3 持続可能な地域公共交通や移動手段の確保

①新しい公共交通システムの構築 1,092万円

(子育て支援、定住促進等を目的とした通学定期補助や夜間特別便を継続実施するとともに、地域と中心核をつなぐ移動手段の整備に向け社会実験を実施し、利便性の高い公共交通システムの構築をめざす。)

②竜王大橋の耐震補強と道路交通網の長寿命化 1億3,500万円

(緊急輸送道路上に位置する竜王大橋について耐震補強工事を完了させる。また、町道の舗装修繕等による長寿命化を図り通行の安全を確保する。)

4 防災情報システムの構築と自主防災組織の機能強化を核とした防災体制強化

①竜王町防災行政情報システムの整備 1億1,668万円

(令和元年度から実施している情報伝達手段の充実化および多重化を図るための防災行政情報システムの整備を完了させる。全戸に個別受信機を設置するとともに情報伝達アプリの整備を行う。)

②竜王町洪水・土砂災害ハザードマップの作成(更新) 617万円《新》

(令和元年度に更新された滋賀県の地先の安全度マップと国の洪水浸水想定区域図を基に、最新の町のハザードマップに更新し、災害予防対策に活用する。)

③日野川改修・国道8号整備の強化 300万円《拡》

(日野川の抜本改修、国道8号の整備等に係る国・県要望を強化し加速化を図る。)

歳入においては、町税を36億9,380万円、対前年度6,991万円(1.9%)の減収を見込んでおり、特に、町民税は、税制改正に伴う法人町民税率の引き下げにより2億2,243万円減の見込みです。

このような状況の中で、依然として厳しい財政状況であることには変わりはなく、普通交付税が平成30年度、令和元年度に引き続き不交付となる見込みであることから、歳出削減および歳入確保に努めてもまだ不足する所要の財源のため、財政調整基金から4,200万円を取り崩すこととし予算編成をいたしました。これにより令和2年度末の同基金残高は13億4,000万円程度となる見込みです。

令和2年度(2020年度)末町債残高見込：44億9,884万円(うち臨財債：21億2,179万円)

令和2年度(2020年度)末基金残高見込：30億5,242万円(うち財調基金：13億3,847万円)

予算実現のための体制整備案

①総務部門に「中心核整備課」を新設

(総務部門に「中心核整備課(中心核整備係)」を新設し、コンパクトシティ化構想(案)の具現化を図る。)

②生涯学習課に「国体・スポーツ振興係」を新設

(生涯学習課に「国体・スポーツ振興係」を新設し、2024年に開催される滋賀国スポにおけるスポーツライミングの会場として、施設整備等の本格的な準備を開始する。)

③教育総務課に「こども園準備室」を新設

(令和元年10月から始まった幼児教育・無償化等によって、さらに保育ニーズが高まったことから、竜王町にふさわしい認定こども園への移行準備を検討する。)